

\\ 鶴岡市地域福祉活動計画 //

# おだがいさまの まちづくり計画

2015



おだがいさまのまちづくり計画 2015

平成28年3月



平成28年度 → 平成32年度

— 編集・発行 —

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

〒997-0033 鶴岡市泉町5番30号  
TEL:0235-24-0053 (代) FAX:0235-23-9110

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

---

# 序章

---



## 1.はじめに

鶴岡市社会福祉協議会 会長 難波 玉記

## 2.公・民協働によるおだがいさまのまちづくりへの挑戦

法政大学現代福祉学部 教授

日本地域福祉研究所 副理事長 宮城 孝



## はじめに

鶴岡市社会福祉協議会  
会長 難波玉記

平成17年の合併から10年が経過し、新鶴岡市社会福祉協議会として平成23年に策定した地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2010」も早いもので計画期間の5年が終了します。この間、基本理念として掲げている「おだがいさまのまちづくり」を常に念頭におきながら、鶴岡・藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海の6つの地域の実情や地域課題などにあわせて、福祉コミュニティづくりを進めるための活動を中心に様々な事業に取り組んできました。

鶴岡市においても、この5年の間に人口減少や高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者の孤立死や生活困窮世帯、さらに若者のひきこもり者などが増加し、地域住民の住民主体による取組の充実とともに、保健・福祉・医療などの専門機関と地域の団体などが繋がっている仕組みがますます重要な時代になりました。

このたび策定しました「おだがいさまのまちづくり計画2015」は、同時に策定され、今後の地域社会の変化に対応した地域福祉のあり方を示した鶴岡市地域福祉計画「つるおか地域福祉プラン2015」を補完する行動計画であり、新たな地域課題や福祉課題に対応するためにも、計画を着実に実施することが当協議会に求められる役割であります。

今回の計画も「おだがいさまのまちづくり」という基本理念を掲げて「おだがいさまのまち・鶴岡」の実現をめざし、次の4つの基本的な視点に立って、住民主体の地域福祉の推進に努めるものであります。

- 1、住民主体による地域における支え合い活動の推進体制の構築
- 2、公・民協働で進める誰もが地域で安心して暮らしていけるまちづくり
- 3、「地域福祉は人づくり」の視点に立った人材の発掘と養成
- 4、市民の信頼を得ることのできる社会福祉協議会の組織運営

計画策定にあたり多大なるご協力をいただきました市民の方々、策定委員の皆様、ご指導いただきました日本地域福祉研究所の宮城副理事長をはじめ研究所の皆様へ深く感謝申し上げます。

この計画を基本とし地域福祉の重要性をご理解の上、市民共々手をとり合って、「おだがいさまのまちづくり」にご協力賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年3月



## 公・民協働によるおだがいさまのまちづくりへの挑戦 — 鶴岡市地域福祉活動計画策定にあたって —

法政大学現代福祉学部教授  
日本地域福祉研究所 副理事長 宮城 孝

この1年余り、鶴岡市の様々な関係機関や団体等にお話をうかがい、また、鶴岡市の近年の各種データを見てきて、いよいよ鶴岡市も人口減少・超高齢社会に突入したことを実感しています。実際、鶴岡市も平成26年度には、高齢化率が30.4%と30%を超えましたし、5年前の国勢調査と比較して人口減少が顕著な傾向を示しています。

今回、市の鶴岡市地域福祉計画「つるおか地域福祉プラン2015」、社会福祉協議会による鶴岡市地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2015」の策定にあたって、このような地域社会の大きな変化を踏まえ、地域福祉に関する課題をより明らかにするために、①町内会長・単位自治組織の長への地域福祉に関するアンケート調査、②民生委員・児童委員への地域福祉に関するアンケート調査、③ひとり親家庭の子育てに関するニーズ調査、④社会福祉協議会ホームヘルパーへのアンケート調査、⑤10の町内会・自治会等の住民座談会等の実施と分析を行いました。

これらの調査等の結果においても、町内会や自治会長、民生委員さん達が、自らの地域の人口減少や高齢化の進展を日々の暮らしの中で身近に感じ、相当危機感を強めていることがうかがわれました。具体的には、独居高齢者の安否確認の必要性、認知症高齢者に関する課題や空き家問題などについて、切迫した状況が伝わってきます。ひとり親家庭の子育てに関する調査結果からは、経済的にひっ迫した状況に置かれ、ゆとりのない子育てに追われていることが強く訴えられています。社会福祉協議会のホームヘルパーの調査からは、ホームヘルパーの高年齢化が進み、人材の確保と養成が待たないであることが認識させられました。その一方、5年前に提起した地域の支えあい活動「おだがいさまネット」活動が、いくつかの地域で、地域の特性を踏まえ住民主体によって意欲的に取り組まれていることは、大変に心強く感じ、今後さらに鶴岡市全域への啓発・普及が期待されます。

我が国が直面している人口減少・超高齢社会は、これまでの我が国、いや世界でも経験したことのない未知の世界であり、正解を示したテキストはありません。このような時代にあって、誰もが安心して暮らせる地域づくりは、行政だけではとても実現できるものではありません。地域住民のお一人おひとりが、自ら気がついたことから地域の支えあい活動に参加するとともに、行政と民間が一体となった「地域の総合力」を構築し、発揮することが求められます。

本計画と「つるおか地域福祉プラン2015」を確実に実現することによって、鶴岡市が東北随一の地域福祉の推進地になることを、策定に関わった者の一人として確信してやみません。

平成28年3月

おだがいさまの  
まちづくり計画  
2 0 1 5



目次

---

第1章 「おだがいさまのまちづくり計画2015」の策定にあたって	5
1.「おだがいさまのまちづくり計画2015」策定の背景	6
2.「おだがいさまのまちづくり計画2015」の位置づけと性格	7
3.「おだがいさまのまちづくり計画2015」の基本理念	9
4.「おだがいさまのまちづくり計画2015」の基本的な視点	9
5.計画期間	9
6.計画の進行管理	9
7.計画の体系	10

---

第2章 5層のエリアによる福祉コミュニティの構築	13
--------------------------	----

---

第3章 重点課題とこれからの取り組み	19
【重点課題1】 地域福祉推進体制の整備と住民主体による見守り・支え合い活動の充実	20
【重点課題2】 地域で安心して暮らしていける個人・家族への支援と地域包括ケアの促進	24
【重点課題3】 住民に身近で利用しやすい相談支援の充実と地域におけるセーフティネット構築の推進	26
【重点課題4】 地域の福祉活動を進める人材の発掘と育成、福祉意識の啓発	30
【重点課題5】 ボランティアの養成と、新たな問題に対応する活動の推進	32
【重点課題6】 福祉教育の推進と子ども・若者の社会参加の促進	34
【重点課題7】 権利擁護活動の強化と体系的な基盤整備	36
【重点課題8】 地域福祉を推進する中核的な組織としての社会福祉協議会の経営基盤・体制の強化	38

---

第4章 鶴岡市における地域福祉活動をめぐる現状	41
-------------------------	----

---